



世界に希望を生み出そう

会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

令和6年1月24日(水)、国際ロータリー第2780地区第9グループ IM・合同例会(ホストクラブ:小田原中ロータリークラブ)が鈴廣・鈴の音ホール(小田原市)にて開催されました。本 IM の実行委員会に、湯河原 RC からは石川浩子会員が実行委員として出向いたしました。石川会員、たいへんお疲れ様でした。

### 出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名  
会員 22名 欠席6名(免除者2名)  
出席率 80.00%  
前回の修正出席率 77.27%  
前々回の修正出席率 95.45%  
事前メイクアップ 0名

幹事報告・連絡事項・スマイルボックス なし

### 卓話

地区職業奉仕委員 角山 俊夫 様(箱根 RC)

(前号からの続きです)

### <1987> 職業奉仕に関する声明

その後も 1987 年「職業奉仕」に関する声明が発表されるなど、時代の変化に合わせて考え方の小さな修正はされてきましたが、A.シールドンや H.テイラー達が唱えた職業奉仕の理念は、今も脈々と我々に受け継がれています。そして現在の職業奉仕は、2016 年の規定審議会によって採択された条文中に記されています。

### <2016> 規定審査会による改正

現在の国際ロータリーでは職業奉仕について、ロータリークラブ定款 第6条2に以下のように定めています。

職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念にしたがって自分自身を律し事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。(一部略)

ここまで職業奉仕の歴史と、キーマンとなった人物達、「ロータリーの目的」や「四つのテスト」をご紹介して参りましたが、結局のところ「職業奉仕とは何か」については、この条文となります。高い倫理基準と高潔性を兼ね備えた職業人とし



佐藤会長より新会員(宮川会員・内藤会員)の紹介



講演会終了後、佐藤会長による謝辞

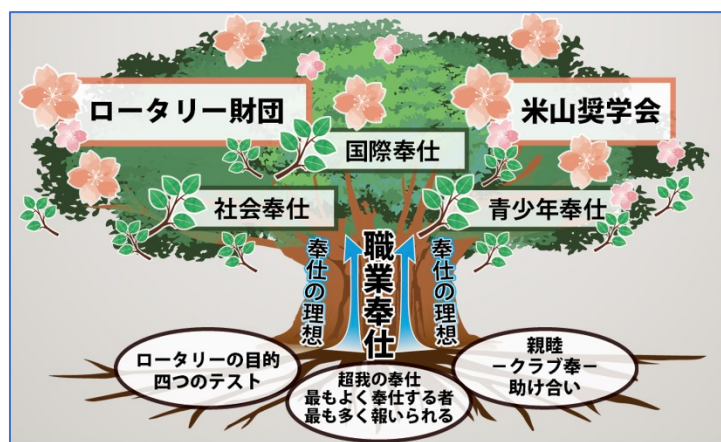
て「奉仕の理念」「4つのテスト」を道しるべとし職業を遂行しましょう、それこそが「職業奉仕」ですよと明記されています。「言わばシェルドンや H.テイラーの思いが詰まっている部分です。

また「事故の職業上の手腕を～プロジェクトに応えること」は、2016 年に追記された箇所になります。クラブの奉仕プロジェクトにおいても自身の職業スキルを活かし、社会問題やニーズに役立てるための活動をしていこうと書かれています。

職業奉仕を一言で伝えるのは難しいことですが、歴史の話も少し交えながら伝えていくことで理解は深まると思います。

## ・ロータリーの樹

ここではさらなる理解のために、2008 年の RI 国際協議会全体会議において、当時の渡辺好政 RI 理事が講演で用いた資料を、氏の説明と共にご紹介いたします。



「1905 年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリークラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いを馳せ、相手を助けるという『奉仕の理想』を学び、その真意が『共存共栄』であることがわかります。『クラブ会員』は、ロータリーの目的を基本として、H.テイラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体現することによって、『ロータリアン』に進化してまいります。ロータリークラブ会員からロータリアンに進化してゆく過程の基盤には A. シェルドンの『超我の奉仕』、『もっとも奉仕するもの、最も多く報いられる』が存在いたします。私たちは、この2つのモットーを1枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく「行動の哲学」なのであります。」

非常に明快に解説されておられる、改めて見ても大変素晴らしい資料だと思います。クラブ奉仕は ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」であり、職業奉仕はその上に成長する「幹」

です。根から吸収された「水」と「栄養」はロータリーの根幹といわれる職業奉仕の「幹」に入り、幹の中にある「奉仕の理想」という導管を通して「社会奉仕」、「国際奉仕」、「青少年奉仕」という枝や葉に届き、そして「ロータリー財団」や「米山奨学会」という花を咲かせ、多くの「実」を結んでいます。

クラブ奉仕を通じて会員相互が高め合い奉仕の理念を学び、それを自身の職業で実践する。高い倫理基準を持った高潔な職業人として成長し一層幹が太くなり、社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕によって多くの実を結ぶ。その根幹は「職業奉仕」で有り、この樹こそがロータリーの姿で有ります。

## ・RI 第 2780 地区における職業奉仕実践例

最後に RI 第 2780 地区における職業奉仕の実践例を2つご紹介したいと思います。

まずは、2023 年相模原南ロータリークラブの出前授業です。生徒達が将来就きたいと思える職種を見つける事を目的として「職業を知る」をテーマに、会員 10 名が講演を行いました。会員個々の職業を通じ、知識、技術を紹介し、将来の職業を考える機会を提供するという職業奉仕です。生徒達からは、「好きなことをしているところがカッコイイ」「自分の将来を考える時の参考にしたい」などの声が寄せられたとの事です。

次に、大和ロータリークラブの実践例です。大和ロータリークラブは 2019 年に創立 60 周年を記念する事業として「やまと児童絵画コンクール」を開催し継続しています。2023 年度で5回目を迎えた「絵画コンクール」では、市内の小学校児童を中心に、毎年夏休みの課題に絵画のテーマを設定し、展示や表彰、画材の贈呈などを行っています。コロナ禍での開催時には、職業でインターネットを活用している会員のリードにより、QR コードを用いた WEB 展示や VR 展示など、会場外からの鑑賞も可能にする取り組みを行いました。審査は会員全員で行い、児童の純粋な感性に触れ、こころ洗われる思いを毎年しているとのことです。特に低学年の作品の感性は素晴らしく、形を右脳で表現する達人ばかりで選考には大変悩まされるとの事でした。会場は、各学校長、職員、父兄に連れ添われた児童で大変にぎわい、「作品を前にした児童と審査したクラブ会員の語らう言葉を最も大切に」、「子供たちの将来の夢」を実現するためのアドバイスを、会員の経験や職業と照らしながら話をするなど、職業奉仕を軸とした青少年奉仕活動を行っていらっしやるとの事です。

皆様。これからも、ロータリーを通して学んでいる「奉仕の理念」を職場に持ち帰り、職業で世の中に貢献し、奉仕すること、また、その職業スキルをクラブの奉仕プロジェクトで発揮すること。すなわち、職業奉仕を実践しましょう！

本日は、まことに有難うございました。